

令和5年度 定時総会議案書

日 時 令和5年6月10日（土） 13:00～

場 所 兵庫県臨床検査技師会 研修センター



公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会

令和5年度 定時総会

【次 第】

1. 開会の辞
1. 議長選出
1. 書記任命
1. 総会の資格審査
1. 議事録署名人に関する件
1. 報告事項
令和4年度 事業報告
1. 議案審議
 - (1) 第1号議案
令和4年度 決算報告
令和4年度 監査報告
 - (2) 第2号議案
名誉会員推薦者の承認について
1. 書記解任
1. 議長解任
1. 閉会の辞

目 次

はじめに	3
【報告事項】	
令和4年度 事業報告	
I 法人事務局	
1. 総務部	3
公益社団法人として事務を円滑に進めることができる環境を整備する。 また各部局との連携強化を図り、公益と共益のバランスが取れた事業展開を支援する。	
2. 経理部	5
令和4年度 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会決算を提出する。	
II 事業推進局	
1. 公益目的事業（1）	5
公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業。	
2. 公益目的事業（2）	6
臨床検査の標準化推進及び精度管理調査・指導を行う事業。	
3. 公益目的事業（3）	7
学術及び技術の振興を目的とする事業。	
III 組織活動局	
1. 共益事業（他1）	8
会員の資質を向上させる事業。	
2. 広報事業（他2）	10
会員に有益な情報提供する事業。	
【第1号議案】	
令和4年度 決算報告	11
令和4年度 監査報告	11
【第2号議案】	
名誉会員推薦者の承認について	11

はじめに

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会は、衛生思想の普及啓発及び臨床検査技術の振興を通じて、地域保健事業への協力をを行うとともに、臨床検査の技術及び知識の高揚を図り、もって公衆衛生の向上と県民の健康の保持、増進に寄与することを目的とし、3つの公益事業（公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業、臨床検査の標準化調査及び精度管理指導を目的とする事業、学術及び技術の振興を目的とする事業）と2つの共益事業（会員の資質を向上させる事業、広報事業）を軸に様々な活動を展開している。令和4年度においては、令和3年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面式を避けZoomによるオンライン形式を基本として各種事業を実施した。

公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業は、公益事業部と渉外部による水平横断的な連携で対応し、県民の健康増進と疾病予防、公衆衛生の向上を目指した市民公開講座やがん検診を促進するPR活動（Love49 in Kobe）等を主にオンライン形式で行った。また、多職種連携を意識し、医療職団体協議会、プライマリ・ケア協議会、糖尿病療養指導士連合会等へはオンライン会議の形で参加した。

臨床検査の標準化調査及び精度管理指導を目的とする事業は、精度管理事業部が担当し、兵庫県医師会と連携して臨床検査の精度保証のために県下の施設を対象とした調査及び指導を行った。

学術及び技術の振興を目的とする事業は、学術部が担当し、Zoomを活用したオンライン形式にて研修会を実施した。新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いてきたこともあり、一部の研修会においては感染防止対策を徹底した上で対面形式にて開催した。また、日臨技関連事業として、令和4年度日臨技近畿支部医学検査学会（第61回）をハイブリッド形式（オンデマンド配信あり）で神戸常盤大学にて開催した。

会員の資質を向上させる事業は、組織部と渉外部が担当し、Zoomを活用したオンライン形式を活用した組織地区活動を実施し、会員相互の情報交換と技術や知識の向上を図るとともに会員の意見が技師会活動に反映するように努めた。

広報事業は、広報部が担当し、当会の活動を会員及び一般の皆様によりわかりやすく伝達するため、各種広報媒体を活用した情報発信、啓発活動を行った。また、時代の流れを鑑み、Information technology（IT）の活用を積極的に推進した。

各種法人事務作業は事務局、総務部、経理部が担当した。理事会をはじめとする各種会議はZoomを活用したオンライン形式にて実施した。なお、決算に関しては、第1号議案として経理部が別途報告する。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、今までと同じ形での活動が困難であったにもかかわらず、当会の事業が大過なく展開できたのは、会員各位および賛助の皆さま及び兵庫県をはじめ、兵庫県医師会等の医療職団体各位の協力のお陰であると深く感謝するとともに、今後とも継続して皆様方のご指導、ご鞭撻、ご協力を賜りますようお願い申し上げます次第である。

【報告事項】

令和4年度 事業報告

I. 法人事務局

【総務部】

1. 会務執行体制

理事会の議を経て各局・各部の会務を執行した。

事務作業は、8月より臨時職員3名体制で新型コロナ感染対策に配慮しながら迅速かつ効率的に実施した。HYOGOニュースや日臨技システムの一斉メールと共にホームページを活用し、会員への迅速な情報提供を実施した。

国・都道府県公式公益法人行政総合情報サイトに電子申請を行った。

- ・令和3年度事業報告（令和4年6月30日）
- ・令和5年度事業計画（令和5年3月28日）

2. 総会の開催

定款に基づき令和4年度定時総会を開催した。(令和4年6月11日)

3. 理事会の開催

規程に基づき理事会(8回)を開催した。

4. 委員会の開催

- ・組織運営規程第3章第5条に規定されている常設委員会として、地区委員会、専門委員会(精度管理委員会、学術部会)を開催した。
- ・功労賞・学術奨励賞選出規程に基づき功労賞・学術奨励賞選出委員会を開催した。

5. 定款および規程の一部改正

- ・定款 一部改定 (令和4年6月11日)
- ・総会運営規程 一部改定 (令和4年6月11日)
- ・講師料・謝金支払規程 一部改定 (令和4年4月9日)
- ・旅費規程 一部改定 (令和4年4月9日)
- ・理事会運営規程 一部改定 (令和4年4月9日)
- ・会員及び会費等に関する規程 一部改定 (令和4年4月9日)
- ・組織運営規程 一部改定 (令和4年4月9日)
- ・役員候補者選出規程 一部改定 (令和4年4月9日)
- ・学術情報 Web 配信の規程 一部改定 (令和4年4月9日)
- ・組織執行体制 一部改定 (令和4年4月9日)

6. 関連団体への対応として行政及び関連団体への委員、役員等の派遣を行った。

- ・精度管理専門委員(兵庫県、神戸市、姫路市)
- ・日臨技、日臨技近畿支部
- ・健康ひょうご21県民運動推進会
- ・精度管理調査検討会
- ・健康づくり推進員
- ・兵庫県プライマリ・ケア協議会
- ・糖尿病療養指導士兵庫県連合会
- ・兵庫県合同輸血療法委員会
- ・兵庫県医療職団体協議会
- ・兵庫県がん診療連携協議会幹事会
- ・子宮の日実行委員会

7. 各種表彰について

- ・令和4年 春の叙勲 受章(瑞宝双光章) 1名
- ・2022年度 第41回福見秀雄賞 1名
- ・令和4年度 兵臨技功労賞 1名
- ・令和4年度 兵臨技学術奨励賞 1名

8. 事務作業の迅速化・簡素化

各種会議は、新型コロナウイルス感染対策としてWebを活用し、経費の削減に努めた。理事会等の資料・報告書等の伝達及び保管については電子化に努め、コスト削減・業務の効率化を図った。また、会務の諸連絡は電子メール等の電子媒体を活用し、情報伝達の迅速化、共有化を行った。

9. JAMT「一斉メール」機能の使用について

現在、会員管理を日本臨床衛生検査技師会「都道府県技師会専用サイト」で行っている。本システムの「一斉メール」機能を利用して、兵臨技からの案内をメールアドレスの登録をしている全会員に配信している。

10. 令和5年3月31日現在の会員状況

地区別正会員数状況(正会員数)

	施設数	会員数
神戸地区	123	920
阪神地区	63	519
丹但地区	13	102
東播地区	48	450
西播地区	47	407
その他	0	21
合計	294	2419

賛助会員数 57 社

【経理部】

(第1号議案) 令和4年 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会決算報告書を提出する。

<決算書類> 貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、財産目録

II. 事業推進局

【公益事業部】 公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業（公1）

県民に対して公衆衛生、保健・医療、臨床検査の重要性や有効性に関連する情報提供を通し、疾病予防の関心を高め、健康診断受診率の向上を図り、公衆衛生の向上を図ることを目的として各事業を実施した。

1. 各協議会との協働参画事業

(1) 兵庫県看護協会主催の「看護フェア」イベント

【開催日】 令和4年11月26日（土）

【会場】 Web 開催

【内容】 看護職のあなたにエールを！

昨年度開催内容の“フレイルを予防して、元気に楽しく暮らしていこう♪”をテーマに県下11の医療職団体作製の動画が今年度も閲覧可。当会より「フレイル予防に役立つ臨床検査の紹介」として、兵庫県立はりま姫路総合医療センター所属の会員より InBody（SMI）について動画配信。

(2) 兵庫県がん連携協議会検査セミナー

【開催日】 令和4年11月5日（土）

【会場】 兵庫県民会館 パルテホール（ZoomによるWeb開催を併用）

【内容】 テーマ：オンコロジーエマージェンシー ～パニック値の背後にある病態を理解しよう～

1. オンコロジーエマージェンシーの系統的アプローチ ～パニック値でもパニックらない～

演者：森田 充紀 先生（兵庫県立がんセンター 腫瘍内科）

座長：村山 徹 先生（兵庫県立がんセンター 検査部長兼血液内科部長）

2. 悪性腫瘍と血栓症について

演者：真鍋 健太 先生（関西ろうさい病院 検査科）

座長：村山 徹 先生（兵庫県立がんセンター 検査部長兼血液内科部長）

3. 悪性腫瘍と尿検査について

演者：大沼 健一郎 先生（神戸大学医学部附属病院 検査部）

座長：駒井 隆夫先生（兵庫県立尼崎総合医療センター 検査部）

【参加者】 134名（会場38名、Web96名）

(3) 第49回兵庫県医療職団体協議会研修会

【開催日】 令和5年2月23日（木）

【会場】 兵庫県看護協会会館

【内容】 “タスク・シフト/シェア”を主題に、基調講演では「組織で取り組むタスク・シフト/シェア～患者の利益をめざした多職種連携・協働の強化～」と題して、市立野洲病院看護部長 小森久美子氏の講演があり、シンポジウムでは各職能団体のタスク・シフト/シェアにおける活動報告として当会より佐藤副会長が講演を行った。

【参加者】 101 名

(4) 災害訓練活動

令和 4 年度兵庫県・播磨広域合同防災訓練

【開催日】 令和 4 年 9 月 4 日 (日)

【会場】 多可町立中央公園グラウンド、多可町健康福祉センター「アスパル」他

【内容】 「地域住民参加による避難訓練、救護所設置運営訓練、倒壊建物からの救出救助訓練、感染症に対応した避難所設置運営訓練等を兵庫県で実施し、災害時における防災関係機関相互の連携や広域防災体制の充実強化を図る事を目的に、JMAT（日本医師会災害医療チーム）に参画し、避難所救助所および避難所の医療管理等の医療支援活動を行った。

【参加者】 2 名

2. 啓発事業

(1) 子宮頸がん予防啓発キャンペーン (LOVE49 キャンペーン in KOBE)

【開催日】 令和 4 年 4 月 9 日 (土)

【会場】 大丸須磨店 1 階特設会場

【内容】 一般の人を対象に、音楽ミニコンサート、神戸常盤大学学生「ときわがかり」による子宮頸がん予防フォーラム、子宮頸がん予防啓発関連資料の配付等を実施。当会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、子宮頸がん予防啓発パネルの展示を行った。

【来場者数】 大丸須磨店来場者を対象としたため不明。資料は当日 500 部配付。

(2) 検査と健康展

【開催日】 令和 4 年 10 月 9 日 (日)

【会場】 神戸常盤大学

【内容】 一般の人を対象にし、健康チェックを実施。

(検査体験項目) ヘモグロビン測定、血管年齢測定、骨密度測定、体組成測定

【来場者数】 270 名

3. 市民公開講座

(1) 令和 4 年度 第 10 回 医療公開講座

【開催日】 令和 4 年 7 月 24 日 (日)

【会場】 あすかホール・Web (Zoom・ケーブルテレビ配信) 併用

【内容】 下痢で困っていませんか? -慢性下痢の原因と対策-

【講師】 木下 芳一 先生(兵庫県立はりま姫路総合医療センター 院長)

【内容】 臨床検査技師のお仕事 ~検査ってどんなことしてるの?~

【講師】 衣笠 愛二 先生(姫路市医師会 臨床検査技師)

【参加者】 76 名 (会場 50 名、Web26 名)

(2) 令和 4 年度 西播地区市民公開講座災害研修会

【開催日】 令和 5 年 2 月 18 日 (土)

【会場】 Web 開催

【内容】 熊本大震災と広島豪雨災害での医療支援 -DVT 検診活動報告-

【講師】 笹木 優賢 先生(藤田医科大学病院)

【内容】 緊急事態宣言下における医療人のあり方

【講師】 清元 秀泰 先生(兵庫県姫路市長)

【内容】 災害医療における臨床検査技師の関わり -検査の他に知っておくべきこと-

【講師】 安部 史生 先生(兵庫県災害医療コーディネーター)

【参加者】 75 名

【精度管理事業部】 臨床検査の標準化調査及び精度管理指導を目的とする事業 (公 2)

医療法の一部改正があり精度管理の普及や重要性が高まる中、臨床検査の標準化調査及び精度管理指導に関する事業は、県と兵庫県医師会、当会が共同で行う事業で、県の臨床検査実施機関の臨床検査データの標準化、共有化を図ることで、県民に信頼性の高い臨床検査データを提供することを目的として

実施した。

【実施】令和4年11月

【評価・報告】令和5年3月

【参加施設数】136施設

【調査概要】日臨技精度管理システム（JAMTQC）により、申込み・結果報告、集計、解析等を行った。

【調査項目】臨床化学検査、ヘモグロビン A1c 検査、血液ガス検査、免疫血清検査、血球計数検査、血液像検査（フォトサーベイ）、凝固検査、便潜血検査、尿沈渣検査（フォトサーベイ）、微生物検査、微生物塗沫鏡検（フォトサーベイ）、輸血検査、病理組織検査、免疫組織化学染色、細胞診（フォトサーベイ）、生理機能検査（フォトサーベイ）、新型コロナウイルス核酸検査

【調査内容】各検査調査項目に対して、当会から配布した試料を個々の施設で行う検査方法・測定機器にて測定し、その測定値を当会精度管理事業部で集計、統計学的手法（各検査項目の目標値または平均値、標準偏差値、変動係数等）で分析を行った。写真や細胞画像等から所見判定を問う調査（フォトサーベイ）は、所見（エピソード）、細胞、細菌等から想定される病名や種類等を総合的に判断する知識と能力を問うものであり、病理標本はその染色性について評価した。

評価については、昨年同様 A・B・C の3段階とし施設別評価表にその一覧を掲載した。

統計学的手法から逸脱する施設に対して、文書での通知、試料再送付による再測定や測定時の状況を調査して学術部が指導するなど手厚いサポートを行った。

【調査報告】調査結果は JAMTQC に施設別評価表を掲載し、参加施設が自施設の結果を出力し確認することが可能であった。また、精度管理解析資料集を発行し、各学術研究班による精度管理報告会および医師会との合同精度管理検討会を開催した。兵臨技ホームページに精度管理検討会の資料および精度管理解析資料集の簡易版を掲載し、各施設が随時閲覧可能な環境を提供した。

【サポート体制】令和4年度兵臨技精度管理調査の結果、83施設がサポート対象となり、3月末時点は正完了が64施設、未回答が19施設、回答率が77%であった。次年度に向けて精度管理調査のサポート体制がより効果を発揮できるように運用の改善に取り組み、臨床検査の品質向上に貢献していく。

【学術部】学術及び技術の振興を目的とする事業（公3）

臨床検査は、医療の中でもっとも重要性の高いもののひとつであり、診断、治療効果の判断材料とされている。それら日進月歩で進化する医療の知識や技術に対応するため臨床検査技師・医療関連職種の資質の向上が必須である。学術活動を通じて最新の医療の知識や技術を習得し、安全で安心な医療を目指して会員の資質向上を図るため、年間を通じて専門分野ごとに数多くの研修会及び技能習得のための実習会を開催している。

昨年度から引き続き、新型コロナウイルスの影響により多くの研修会が Web 開催となった。一部、現地開催の研修会も開催されたが、まだまだ通常通りの内容とはいかなかった。会費徴収を開始したことで、昨年度と比較して参加者は減少したが、多くの会員に参加してもらえる形となった。

さらに、令和4年度日臨技近畿支部医学検査学会（第61回）をハイブリッド開催という形で開催し、会員、非会員を含めて多くの参加者があった。

<臨床検査技師を対象とするもの>

1. 学術研修事業

実務経験に応じたレベルごとの研修や、多様な臨床検査技術に関する各種研修を実施し、臨床検査技師の専門的な知識、技術を高め、高度医療や先進医療に対応できる人材の育成を目的とし開催した。

- | | | | | |
|----------------|------|-----|-----|------|
| (1) 微生物検査研修 | 研修回数 | 8回 | 参加者 | 417名 |
| (2) 化学免疫検査研修 | 研修回数 | 6回 | 参加者 | 233名 |
| (3) 血液検査研修 | 研修回数 | 7回 | 参加者 | 201名 |
| (4) 病理細胞検査研修 | 研修回数 | 12回 | 参加者 | 414名 |
| (5) 生理検査研修 | 研修回数 | 3回 | 参加者 | 156名 |
| (6) 一般検査研修 | 研修回数 | 11回 | 参加者 | 308名 |
| (7) 輸血検査研修 | 研修回数 | 3回 | 参加者 | 95名 |
| (8) 遺伝子・血液合同研修 | 研修回数 | 1回 | 参加者 | 38名 |
| (9) チーム医療研修 | 研修回数 | 1回 | 参加者 | 17名 |

2. 就労研修事業

医療機関及び検査機関等において有能な臨床検査技師の確保・定着を促進し、地域における臨床検査の迅速化、正確化を図るため、臨床検査からブランクのある離職者および担当業務よりブランクのある会員に対して専門的な実践研修（実技講習会）を実施するように毎年企画していたが、実技研修の機会を作ることが難しく今年度も開催はできていない。次年度はできるようにしたいと考えている。

3. 臨床検査支援事業

- (1) 県民に対し、臨床検査内容を適切に説明できるよう、臨床検査情報の提供を行うための知識・技能等を習得するため、研修会等において指導を行った。
- (2) 県内各地域で研修会を開催し、地域で勤務する臨床検査技師の修学・技術習得意識の向上を図り地域の臨床検査技師の資質向上を図った。

Ⅲ. 組織活動局

共益事業（他1）

【組織部】会員の資質を向上させる事業

地区活動を通じ、会員相互の情報交換と技術や知識の向上を図るとともに会員の意見が技師会活動に反映されるように以下の事業を行った。

1. 組織強化及び情報交換・共有化事業

実施内容：施設責任者・連絡者会議の開催、検査情報共有化

<丹但地区>

- (1) 令和4年度丹但地区施設責任者・連絡者会議

【開催日】令和4年7月15日（金）

【会場】Web開催

【参加者】16名

- (2) 第42回丹但地区研究発表会

【開催日】令和4年8月21日（日）

【会場】朝来医療センター4F会議室・Web併用

【参加者】42名

- (3) 令和4年度丹但地区 地区会議

【開催日】令和5年2月1日（水）

【会場】Web開催

【参加者】7名

- (4) 第17回丹但地区学術組織合同研修会

【開催日】令和5年2月25日（土）

【会場】Web開催

【参加者】32名

<西播地区>

- (1) 第13回西播地区研修会

【開催日】令和4年4月24日（日）

【会場】Web開催

【参加者】68名

- (2) 令和4年度第1回西播地区 地区会議

【開催日】令和4年6月15日（水）

【会場】Web開催

【参加者】21名

(3) 第39回西播地区研究発表会

【開催日】令和4年7月24日(日)

【会場】あすかホール・Web併用

【参加者】121名

(4) 令和4年度第1回西播地区施設責任者・連絡者会議

【開催日】令和4年8月24日(水)

【会場】Web開催

【参加者】18名

(5) 令和4年度第2回西播地区 地区会議

【開催日】令和5年3月22日(水)

【会場】Web開催

【参加者】21名

<東播地区>

(1) 第1回東播地区ナイトセミナー

【開催日】令和4年9月16日(金)

【会場】Web開催

【参加者】45名

(2) 第2回東播地区ナイトセミナー

【開催日】令和4年12月21日(水)

【会場】Web開催

【参加者】23名

(3) 令和4年度東播地区施設責任者・連絡者会議

【開催日】令和5年2月4日(土)

【会場】Web開催

【参加者】16名

(4) 令和4年度第31回東播地区研究発表会

【開催日】令和5年3月11日(土)

【会場】Web開催

【参加者】49名

<神戸・阪神地区>

(1) 令和4年度新人研修会

【開催日】令和4年9月10日(土)

【会場】Web開催

【参加者】15名

(2) 令和4年度阪神・神戸地区合同施設責任者・連絡者会議

【開催日】令和4年9月29日(木)

【会場】Web開催

【参加者】23名

2. 職業紹介事業(担当:渉外部)

県内の求人情報の提供(ホームページにて延べ102名の紹介)を行った。

3. 業務疑義照会(担当:渉外部)

会員及び施設からの検査業務に関する問い合わせは3件であった。

広報事業（他2）

【広報】会員に有益な情報提供する事業

事業概要のもと、当会の活動を県民への広報と機関紙及び会報発行を行い会員相互への情報提供、職業意識の共有化を図るため、各種広報媒体を活用した情報発信と効果的・効率的な啓発活動を展開した。

1. 会報、機関紙の発行

- (1) 会報「HYOGO JOURNAL」について
新春特集（会員向け事業報告）
第44巻 第1号（通巻248号）令和5年2月19日発行
- (2) 機関紙「HYOGO ニュース」について
隔月発行 第376～382号

2. ホームページの随時更新掲載（臨床検査情報センター）

情報発信・受信の場をリアルタイム性の高いホームページ主体で行った。

- (1) 市民公開講座、講演会、学会、研修会などの案内と報告
- (2) 医療関連情報の提示、施設および賛助会員紹介など
- (3) 精度管理事業の公開（案内、報告など）
- (4) 関連団体の学会、研修会などの案内
- (5) Web 行事予定表
- (6) Web 求人情報

3. 取材活動

記事作成のため、下記において広報部より取材をした。

- (1) 定時総会
【開催日】令和4年6月11日（土）
- (2) タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会について
【開催日】令和4年7月3日（日）
- (3) 第39回西播地区研究発表会・第10回医療公開講座
【開催日】令和4年7月24日（日）
- (4) 令和4年度 新人研修会
【開催日】令和4年9月10日（土）
- (5) 令和4年度「検査セミナー」
【開催日】令和4年11月5日（土）
- (6) 令和4年度 日臨技近畿支部医学検査学会（第61回）
【開催日】令和4年12月3日（土）・4日（日）
- (7) 令和4年度 西播地区 市民公開講座 災害研修会
【開催日】令和5年2月18日（土）
- (8) 第49回兵庫県医療職団体協議会合同研修会
【開催日】令和5年2月23日（木）

【第1号議案】

令和4年度 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 決算報告

《決算書類》貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、財産目録

令和4年度 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 監査報告

《監査書類》監査報告書

【第2号議案】

名誉会員推薦者の承認について

以下の定款 第3章 第5条(3)に基づき、公益社団法人兵庫県臨床検査技師会 前会長 中町 祐司氏を名誉会員に推薦する。

第3章 会 員 (種別)

第5条 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 臨床検査技師又は衛生検査技師の資格を有し、この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 賛助会員 この法人の事業に賛助するために入会した個人又は団体
- (3) 名誉会員 この法人に功労があった者又は学識経験者で、理事会の推薦に基づき、総会(第12条に規定する総会をいう。以下同じ。)の承認を得た者

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,752,897	6,254,256	1,498,641
貯蔵品	40,000	20,000	20,000
流動資産合計	7,792,897	6,274,256	1,518,641
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
什器備品	1,025,369	1,166,328	△ 140,959
ソフトウェア	218,526	278,124	△ 59,598
功労賞預金	5,000,000	5,000,000	0
研修センター維持積立預金	2,533,018	2,532,951	67
保証金	2,500,000	2,500,000	0
その他固定資産合計	11,276,913	11,477,403	△ 200,490
固定資産合計	11,276,913	11,477,403	△ 200,490
資産合計	19,069,810	17,751,659	1,318,151
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	1,405,000	1,360,000	45,000
預り金	2,564	5,024	△ 2,460
流動負債合計	1,407,564	1,365,024	42,540
負債合計	1,407,564	1,365,024	42,540
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	17,662,246	16,386,635	1,275,611
一般正味財産合計	17,662,246	16,386,635	1,275,611
正味財産合計	17,662,246	16,386,635	1,275,611
負債及び正味財産合計	19,069,810	17,751,659	1,318,151

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	6,000	0	6,000
受取入会金	6,000	0	6,000
受取会費	15,135,000	14,780,000	355,000
正会員受取会費	12,235,000	11,880,000	355,000
賛助会員受取会費	2,900,000	2,900,000	0
事業収益	5,649,500	5,261,000	388,500
精度管理事業	3,879,000	4,306,000	△ 427,000
学術事業	1,233,500	614,500	619,000
会員資質向上事業	157,000	30,500	126,500
広報事業	380,000	310,000	70,000
受託収益	824,800	832,100	△ 7,300
日臨技受託収益	58,650	65,950	△ 7,300
精度管理事業受託収益	766,150	766,150	0
受取助成金	1,473,500	1,500,000	△ 26,500
日臨技助成金	1,473,500	1,500,000	△ 26,500
雑収益	5,812	171,634	△ 165,822
受取利息	680	680	0
雑収益	5,132	170,954	△ 165,822
経常収益計	23,094,612	22,544,734	549,878
(2) 経常費用			
公益事業費	13,981,937	12,533,246	1,448,691
給与手当	1,112,767	1,041,034	71,733
臨時雇賃金	2,295,397	2,472,431	△ 177,034
福利厚生費	326,508	314,274	12,234
会議費	17,000	0	17,000
旅費交通費	692,690	441,050	251,640
通信運搬費	541,354	420,219	121,135
消耗品費	3,302,415	3,685,009	△ 382,594
印刷製本費	237,600	217,800	19,800
委託費	301,118	0	301,118
光熱水料	320,152	289,628	30,524
賃借料	2,970,556	2,789,297	181,259
諸謝金	1,263,141	233,877	1,029,264
諸会費	5,000	5,000	0
支払負担金	30,000	60,000	△ 30,000
保守料	110,000	123,838	△ 13,838
渉外費	37,000	20,000	17,000
雑費	0	550	△ 550
減価償却費	419,239	419,239	0
共益事業費	5,357,687	4,952,587	405,100
給与手当	556,384	520,516	35,868
臨時雇賃金	441,421	390,659	50,762
福利厚生費	101,365	92,430	8,935
旅費交通費	177,040	16,650	160,390
通信運搬費	654,599	803,985	△ 149,386
消耗品費	38,455	104,424	△ 65,969

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	1,799,050	1,640,375	158,675
委託費	117,102	0	117,102
光熱水料	120,812	99,704	21,108
賃借料	853,066	857,261	△ 4,195
諸謝金	85,193	11,137	74,056
保守料	313,200	315,446	△ 2,246
表彰制度運営費	100,000	100,000	0
管理費	[2,479,377]	[2,257,395]	[221,982]
給料手当	185,458	173,504	11,954
臨時雇賃金	205,993	182,307	23,686
福利厚生費	108,704	92,746	15,958
旅費交通費	209,780	120,970	88,810
通信運搬費	732,486	600,156	132,330
消耗品費	58,833	58,018	815
光熱水料費	163,098	147,546	15,552
図書費	9,930	9,930	0
賃借料	388,018	374,042	13,976
諸謝金	3,341	0	3,341
租税公課	600	800	△ 200
委託費	87,712	286,000	△ 198,288
慶弔費	46,816	12,518	34,298
保守料	0	2,896	△ 2,896
雑費	13,290	5,666	7,624
減価償却費	265,318	190,296	75,022
経常費用計	21,819,001	19,743,228	2,075,773
評価損益等調整前当期経常増減額	1,275,611	2,801,506	△ 1,525,895
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,275,611	2,801,506	△ 1,525,895
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[0]	[59,401]	[△ 59,401]
経常外費用計	0	59,401	△ 59,401
当期経常外増減額	0	△ 59,401	59,401
当期一般正味財産増減額	1,275,611	2,742,105	△ 1,466,494
一般正味財産期首残高	16,386,635	13,644,530	2,742,105
一般正味財産期末残高	17,662,246	16,386,635	1,275,611
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	17,662,246	16,386,635	1,275,611

正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				共益事業会計			法人会計	合計
	公1衛生事業	公2精度管理事	公3学術事業	小計	他1会員事業	他2広報事業	小計	法人事業	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	6,000	6,000
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	6,000	6,000
受取会費	2,730,000	565,000	2,340,000	5,635,000	2,000,000	3,050,000	5,050,000	4,450,000	15,135,000
正会員受取会費	1,500,000	395,000	840,000	2,735,000	2,000,000	3,050,000	5,050,000	4,450,000	12,235,000
賛助会員受取会費	1,230,000	170,000	1,500,000	2,900,000	0	0	0	0	2,900,000
事業収益	0	3,879,000	1,233,500	5,112,500	157,000	380,000	537,000	0	5,649,500
精度管理事業	0	3,879,000	0	3,879,000	0	0	0	0	3,879,000
学術事業	0	0	1,233,500	1,233,500	0	0	0	0	1,233,500
会員資質向上事業	0	0	0	0	157,000	0	157,000	0	157,000
広報事業	0	0	0	0	0	380,000	380,000	0	380,000
受託収益	0	766,150	0	766,150	0	0	0	58,650	824,800
日臨技受託収益	0	0	0	0	0	0	0	58,650	58,650
精度管理事業受託収益	0	766,150	0	766,150	0	0	0	0	766,150
受取助成金	500,000	0	973,500	1,473,500	0	0	0	0	1,473,500
日臨技助成金	500,000	0	973,500	1,473,500	0	0	0	0	1,473,500
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	5,812	5,812
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	680	680
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	5,132	5,132
経常収益計	3,230,000	5,210,150	4,547,000	12,987,150	2,157,000	3,430,000	5,587,000	4,520,462	23,094,612
(2) 経常費用									
公益事業費	3,302,132	6,028,058	4,561,747	13,981,937	0	0	0	0	13,981,937
給与手当	408,013	370,923	333,831	1,112,767	0	0	0	0	1,112,767
臨時雇賃金	706,276	912,272	676,849	2,295,397	0	0	0	0	2,295,397
福利厚生費	120,042	81,624	124,842	326,508	0	0	0	0	326,508
会議費	0	0	17,000	17,000	0	0	0	0	17,000
旅費交通費	84,000	81,000	527,690	692,690	0	0	0	0	692,690
通信運搬費	223,861	287,781	29,712	541,354	0	0	0	0	541,354
消耗品費	343,812	2,811,843	146,760	3,302,415	0	0	0	0	3,302,415
印刷製本費	0	237,600	0	237,600	0	0	0	0	237,600
委託費	71,097	129,648	100,373	301,118	0	0	0	0	301,118
光熱水料	60,407	102,690	157,055	320,152	0	0	0	0	320,152
貸借料	894,588	272,052	1,803,916	2,970,556	0	0	0	0	2,970,556
諸謝金	107,470	630,625	525,046	1,263,141	0	0	0	0	1,263,141
諸会費	5,000	0	0	5,000	0	0	0	0	5,000
支払負担金	30,000	0	0	30,000	0	0	0	0	30,000
保守料	0	110,000	0	110,000	0	0	0	0	110,000
渉外費	15,000	0	22,000	37,000	0	0	0	0	37,000
減価償却費	232,566	0	186,673	419,239	0	0	0	0	419,239
共益事業費	0	0	0	0	1,856,433	3,501,254	5,357,687	0	5,357,687
給与手当	0	0	0	0	241,100	315,284	556,384	0	556,384
臨時雇賃金	0	0	0	0	264,856	176,565	441,421	0	441,421
福利厚生費	0	0	0	0	58,362	43,003	101,365	0	101,365
旅費交通費	0	0	0	0	138,040	39,000	177,040	0	177,040
通信運搬費	0	0	0	0	134,973	519,626	654,599	0	654,599
消耗品費	0	0	0	0	21,994	16,461	38,455	0	38,455
印刷製本費	0	0	0	0	0	1,799,050	1,799,050	0	1,799,050
委託費	0	0	0	0	41,822	75,280	117,102	0	117,102
光熱水料	0	0	0	0	72,487	48,325	120,812	0	120,812
貸借料	0	0	0	0	697,606	155,460	853,066	0	853,066
諸謝金	0	0	0	0	85,193	0	85,193	0	85,193
保守料	0	0	0	0	0	313,200	313,200	0	313,200
表彰制度運営費	0	0	0	0	100,000	0	100,000	0	100,000

管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	2,479,377	2,479,377
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	185,458	185,458
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	205,993	205,993
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	108,704	108,704
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	209,780	209,780
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	732,486	732,486
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	58,833	58,833
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	163,098	163,098
図書費	0	0	0	0	0	0	0	0	9,930	9,930
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	388,018	388,018
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	3,341	3,341
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	600	600
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	87,712	87,712
慶弔費	0	0	0	0	0	0	0	0	46,816	46,816
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	13,290	13,290
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	265,318	265,318
経常費用計	3,302,132	6,028,058	4,651,747	13,981,937	1,856,433	3,501,254	5,357,687	2,479,377	21,819,001	21,819,001
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 72,132	△ 817,908	△ 104,747	△ 994,787	300,567	△ 71,254	229,313	2,041,085	1,275,611	1,275,611
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 72,132	△ 817,908	△ 104,747	△ 994,787	300,567	△ 71,254	229,313	2,041,085	1,275,611	1,275,611
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 72,132	△ 817,908	△ 104,747	△ 994,787	300,567	△ 71,254	229,313	2,041,085	1,275,611	1,275,611
当期一般正味財産増減額	△ 72,132	△ 817,908	△ 104,747	△ 994,787	300,567	△ 71,254	229,313	2,041,085	1,275,611	1,275,611
一般正味財産期首残高	△ 1,789,696	628,697	△ 2,098,576	△ 3,259,575	335,515	1,893,346	2,228,861	17,417,349	16,386,635	16,386,635
一般正味財産期末残高	△ 1,861,828	△ 189,211	△ 2,203,323	△ 4,254,362	636,082	1,822,092	2,458,174	19,458,434	17,662,246	17,662,246
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 基金増減の部										
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	△ 1,861,828	△ 189,211	△ 2,203,323	△ 4,254,362	636,082	1,822,092	2,458,174	19,458,434	17,662,246	17,662,246

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・ソフトウェア・・・定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によって

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

4. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	0	0	0	0	0
退職給付引当金	0	0	0	0	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			0
什器備品	5,048,964	4,023,595	1,025,369
ソフトウェア	297,990	79,464	218,526
	5,346,954	4,103,059	1,243,895

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金等の名称					
一般正味財産増減の部					
日臨技助成金	一社) 日本臨床検査技師会		1,473,500	1,473,500	0
合計		0	1,473,500	1,473,500	0

附属明細書

重要な固定資産の明細及び引当金の明細については、上記財務諸表に対する注記に記載しているため、記載を省略する。

財産目録

令和 5年 3月31日現在

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会


(単位：円)


貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	183,906	
	預金	普通預金		7,126,536	
		三井住友銀/神戸営業	運転資金として	7,126,536	
		振替貯金(ゆうちょ銀)	運転資金として	442,455	
	貯蔵品	クオカード		40,000	
流動資産合計				7,792,897	
(固定資産)	その他固定資産				
		什器備品	協会事務所	主に公益目的事業で使用	1,025,369
		ソフトウェア	PCA公益法人会計DX	公益・その他事業で供用	218,526
		功労賞預金	三菱UFJ信託/神戸	功労賞財源の任意積立金	5,000,000
		研修センター維持積立預金	みずほ/神戸	センター維持運営の任意積立金	2,533,018
		保証金	協会事務所		2,500,000
固定資産合計				11,276,913	
資産合計				19,069,810	
(流動負債)	前受金	R5年度前受会費		1,405,000	
			預り金	2,564	
	源泉所得税	年調超過分		△ 38,123	
	住民税			2,800	
	社会保険料			37,887	
流動負債合計				1,407,564	
負債合計				1,407,564	
正味財産				17,662,246	

監査報告書

令和5年4月27日

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
会長 真田浩一様

監事 東塚伸一 

監事 笠新和宏 

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び事務局職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益(正味財産増減)の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上